

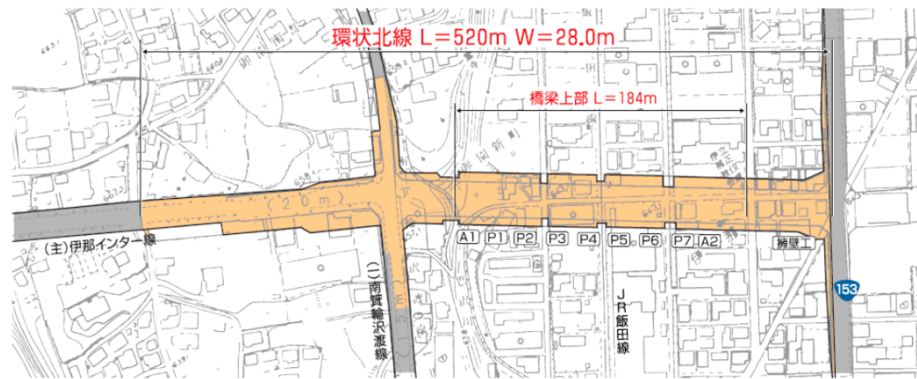
社会資本整備総合交付金(街路)事業

都市計画道路 環状北線 伊那市 御園

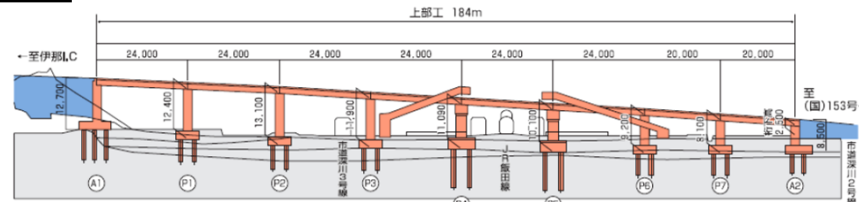
位置図



平面図



側面図



事業効果

供用開始前の平成19年10月と、供用開始後の高遠さくら祭りの時期(観桜期)を外した平成20年5月に交通量調査を実施した。

御園交差点では、

- ① 国道方面に直進が可能になり、交差点の通過交通量が19%増加した。
- ② 伊那インター方面からの車の55%が直進し、国道方面に向かっている。
- ③ 伊那インター方面から市街地(伊那北駅方面)へ向かう車は48%減少した。

水神町交差点では、

- ① (都)環状北線から約3200台の流入が有り、交差点の通過交通量が43%増加した。
- ② (都)環状北線から国道に向かう車の51%が駒ヶ根市方面、36%が箕輪町方面であった。

以上より

- ①(一)南箕輪沢渡線の交通量が減少し、市街地(伊那北駅方面)の渋滞が緩和された。
- ②伊那インター方面から御園交差点を通過する車両の半数以上が(都)環状北線を利用して(国)153号方面へ向かうようになり、市街地への流入交通が分散された。
- ③(都)環状北線が(国)153号に接続されたため、JR飯田線を挟んだ東西方向の道路の利便性が向上し、(主)伊那インター線の交通量が増加した。

1 事業の目的

都市計画道路・環状北線は、中央自動車道・伊那インターチェンジと国道153号を直結する幹線道路です。

毎年桜の時期などの観光シーズンには高遠方面へ向かう車両が市街地へ流入し、慢性的な渋滞となっていました。さらに、平成15年4月には伊那中央病院が開院、平成18年2月には権兵衛トンネルが開通するなど、周囲の状況も大きく変わり、国道153号と伊那インターチェンジを直結する本区間の開通が強く望まれました。

2 事業の経過

平成11年度 用地買収を開始
 平成14年度から本工事に着手
 平成19年度末までに御園・水神町交差点の改良工事が完成
 平成20年3月29日に供用開始

3 事業概要

◎街路名称

- 3・3・1 環状北線((主)伊那インター線)
延長520m、全幅28.0m
- 3・4・3 名古屋塩尻線((一)南箕輪沢渡線)
延長188m、全幅18.0m
- 3・5・11 河西線((国)153号)
延長188m、全幅17.5m

◎事業費

- 国庫補助事業 50億4千万円余
- 県単独事業 2億2千万円余
- 合計 52億6千万円余

整備促進への期待

◎伊那市長

昭和57年の中央道全線開通より、伊那インターチェンジと国道153号を行き交う車両や、高遠城址公園、南アルプスなどの観光地への通過車両など、多くの車両が市街地に流入し、交通の難所となっていました。さらには、上伊那地域の中核病院である伊那中央病院が開院するなど、早期の整備が望まれていました。

国道153号と伊那インターチェンジを直結する本区間の開通により、交通の円滑化と観桜期を含め高遠・長谷への誘導もスムーズに行われ、市街地の交通渋滞の緩和が図られ、災害対策緊急輸送路としての機能がなされ、安心、安全なまちづくりを進めるうえで大きな効果が出たことに対して感謝申し上げます。

環状北線が、現在進められている国道153号伊那バイパスまで延伸することにより、市内内環状道路としてさらに交通の安全性や利便性が高まるとともに、市民生活の向上や地域経済の発展がおおいに期待されます。1日も早く全線開通できますよう、更なるご支援をお願い申し上げます。



事業前市内渋滞状況

御園跨線橋完成

